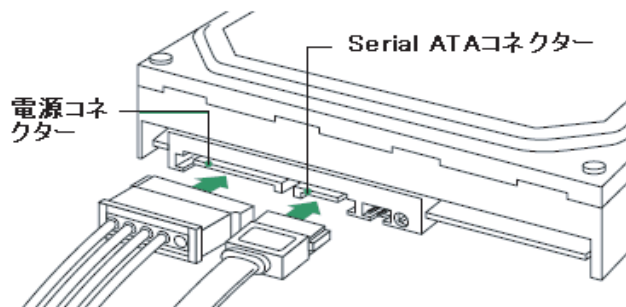


## 【ハードディスクの増設】

本機ではS-ATAタイプを採用しており、S-ATAのハードディスクを取り付ける方法について解説します。  
(機種内部によっては構造上内蔵ができない場合があります)

- 1 コンピューターをシャットダウンして、ACケーブルを本体より抜いてから本体のケースを開けます。ケースの開け方については、「ケースを開ける」を参照ください。
- 2 増設するハードディスクを空いている3.5インチベイに固定します。製品により4本のネジで固定、マウンターで固定、の2つのタイプがあります。1台目のハードディスクを参照の上確認してください。
- 3 ハードディスクに接続するコネクタは次の図に従って、「電源コネクタ」は本体電源ケーブルに予め用意されています。また、「Serial ATAコネクタ」の一端はマザーボードのSerial ATAコネクタに接続してもう一端をハードディスクに接続します。(詳細は付属のマザーボードのマニュアルを参照)



## 【コネクタ接続の注意】

ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。無理に差し込むとコネクタを破損する恐れがあります。また、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして差し込んでください。

- 4 ケースを閉じて電源をONにします。Windows Vistaが起動したらハードディスクの初期化とフォーマットを行います。「ハードディスクの初期化とフォーマット」をご覧ください。

## 【フォーマット】

内臓ハードディスクを増設した場合は、そのままでは使用することができません。初期化とフォーマットを行う必要があります。初期化はハードディスクをシステムに認識させるために行う作業です。フォーマットはWindows上で使用できるようにするための作業です。フォーマットは保存されていたデータは全て削除するため間違えて別のドライブをフォーマットしないようご注意ください。

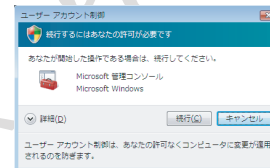
### 1 管理ツールを開きます。

「スタート」→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「管理ツール」を開きますと右の画面が表示されます。



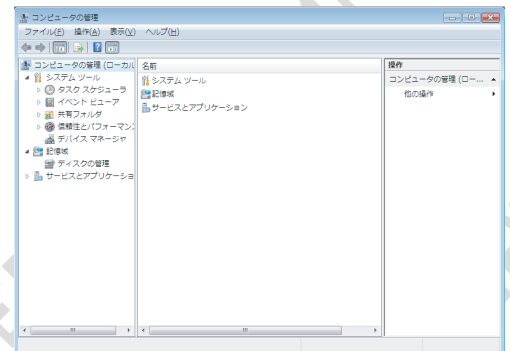
### 2 ユーザーアカウント制御の確認

管理ツールの「コンピュータの管理」をクリックしますと右の画面が表示されますので[続行]を押してください。



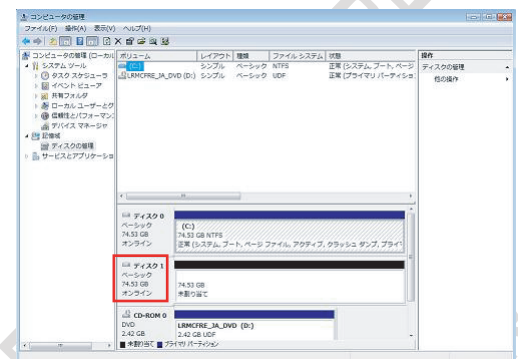
### 3 コンピュータの管理

コンピュータの管理画面が開きますので「ディスクの管理」をクリックします。



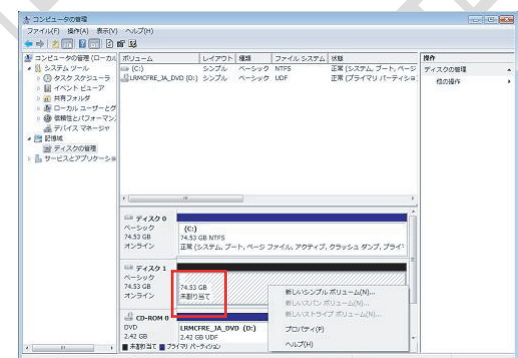
### 4 ディスクの管理

増設されたドライブは右の画面では「ディスク 1」未割り当てと表示された場所が増設されたドライブの表示となります。



### 5 フォーマット

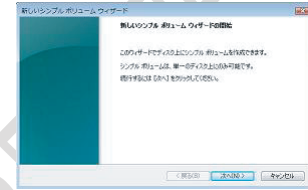
「未割り当て」と表示される箇所にマウスのカーソルを移動してマウスの右をクリックしますとメニューが表示され「新しいシンプルボリューム(N)」を選択します。



## 【フォーマット】

## 6 ウィザードの開始

新しいシンプルボリュームのウィザード画面が表示されますので「次へ」を押します。



## 7 ボリュームサイズの指定

ボリュームサイズの表示はドライブの最大値が表示されております。ボリュームを分ける場合は、シンプルボリュームサイズを調整します。

